

月刊 みんなねっと

8
2026



大鷲

特集 進めよう！ 精神障害者にも
対応した地域包括ケアシステム



公益社団法人 全国精神保健福祉会

オンライン交流会開催のお知らせ

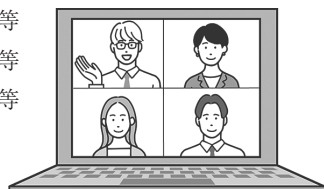
お互いの顔をみながら、みんなで語り合いましょう！

精神保健福祉サービスに関するニーズが最も高い発症間もない家族に対する情報提供や支援がほとんど行き届いていない！！

みんなねっとではこうした状況に対して、家族同士が安心して気軽に繋がり相談や情報交換ができるように、ウェブ会議システム（Zoom）を用いたミーティングを企画しました。

1. 日程及び担当者

- ・第1回 令和8年8月30日（日） 担当者：前田、都道府県連役員等
 - ・第2回 令和8年10月25日（日） 担当者：前田、都道府県連役員等
 - ・第3回 令和8年12月27日（日） 担当者：前田、都道府県連役員等
 - ・第4回 令和9年2月28日（日） 担当者：前田、都道府県連役員等
- ※各回共通 13：00～16：00（12：50受付開始）



担当者の紹介

第1回～第4回

前田 直（精神に障害がある人の配偶者・パートナーの支援を考える会／みんなねっと理事）
家族による家族学習会フォーラム（2026. 8. 9開催）担当者

2. 定 員 各回15名程度

3. 参加費 1,000円 ※みんなねっと賛助会員は無料 クレジットカード決済または銀行振り込みでお願いします

4. 備 考

※各回、定員になり次第締め切り致します。予めご了承ください。

※本企画の趣旨に賛同いただき、今後オンライン交流会の運営に協力いただける「コアメンバー候補」を3名程度募集しております。全4回の日程のうち3回以上参加可能で、ご希望の方は「コアメンバー候補」として申し込みください。

※参加のお申込みをいただいた方には、お申込み後2－3営業日以内（土日祝日を除く）にサロン事務局よりメールをお送りいたします。メールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせ先までメールのご連絡をよろしくお願いいたします。

※誤ったメールアドレスを入力されますと、お申込みの受付順が遅れてしまう場合がございます。メールアドレスは正確にご記入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

5. 申 込 みんなねっとホームページまたは、申込フォームかQRコードを読み込んでお申込みください。申込フォーム：<https://qr.paps.jp/SerVk>



もくじ

2026年 8月号 通巻第233号

2 みんなのわ——読者のページ

6

特集

進めよう! 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム

南山浩二、下屋敷正樹



14 みんなねっと相談室から(第87回)

何もできなかった相談員

16 子ども・きょうだい・配偶者 家族いろいろ(その75)

統合失調症の妻と暮らす夫、回想録、現在、未来

18 リレー連載「リカバリーをめぐる、対話のように」⑦

ふたりの珍道中～10年の時を経て～ (対話) タオ・みい・
岩橋千紗子

22 知りたい! 聴きたい! こんなとりくみ(第64回)

あなたの「価値」を見つけて伝えあう～ほめちぎる就労支援⑥

26 フレー! フレー! これからの家族会 第39回 愛泉会(北海道)

28 お知らせします みんなねっとの活動

30 マンガ 生きている。 第11話 うらうめ もち子

〈表紙絵〉M.M (群馬県)

〈メッセージ〉気高く誇らしく、強いという想いを乗せて描きました。



《第 87 回》 何もできなかった 相談員

みんなねっと電話相談
毎週水曜日 10時～15時
03-5941-6346

この度のご相談はご両親から。長い通話ながら、主に受話器を握られていたお父様により対応ができませんでした。またお電話くださったら……と期待をこめてご報告させていただき

◆息子さんの背景

「親元から離れ希望の大学に。大学院まで進み2年目、研究室に全く行かなくなつて2か月近くの息子。提出した論文と次の研究テーマを指導教官が評価してくれなかったことが原因とみている。現にその直後、酔いづぶれ急性アルコール中毒で緊急入院、すべてが急変した……」と、ご両親はご心配の頂点に

立つておいででした。

大切にされ成長した息子さん、友人作りが苦手で大学入学後、間もなく「死にたい！」という時期があったそう。それ以来「一人暮らしの環境を整えるべき」と考えたお二人は定期的に出向き、掃除、食事の作り置きなどで応援してきました。親との関係も良好で院生になって

◆お父様の疑問

相談員が口を挟む間もなく「理解に苦しむことが多い」と、お話しは続きました。

春の緊急入院騒動の後、息子は自らクリニックに通っているそうです。医師の診断を息子が

「俺はうつ病なんだってよ」と両親に自慢するかのように何度も言うのはどうして？ そのクリニックに親の面会を申し出るものの、一切応じてもらえないのはどうして？ 2年目の研究テーマ提出期限も迫るのに、大学院側は、息子が大学のメンタルを含めた相談室に繋がっていないのを理由に、事務的な対応しかしてくれないのも、どうして？ お父様のご懸念は増すばかりです。

◆想像される息子さんの様子

今月から長期滞在の覚悟で、両親は息子の下宿近くのアパート住まい。彼との関係性は変わ

しかし、今後については何も触れないまま日が過ぎるばかり……と焦られるお父様。

途切れないお話から「疲れているのだよ、本当は苦しいんだよ！」そう言えないでもがいている息子さんの様子が目に浮かびました。

『今度クリニックと一緒に行って先生にご挨拶したいのだけれど、どうかな？』と息子さんをお願いしてみたらどうでしょう」と相談員がやっとお伝えしましたが、お父様のお耳に残ったかどうかは疑問です。

◆相談員の願い

ご相談を受ける際に「傾聴・共感・受容」は基本です。その

上で今回は「息子さんの正直に言えないで悩まれるお気持ちを聞かれて！」とお願いする相談員側の大切なタイミング、それがお父様のエネルギーにさえぎられたまま終わってしまったのです。後悔が残りました。大事な「病の初期」に直面しておいでのご家族です。

ご両親には馴染みのない土地ですが、クリニックもしくは保健所などから、地域で心許しゆつたりとご相談できる機関や家族会のご紹介が願われます。

息子さんはもちろん、ご両親のためにも一日も早くよき支援者との出会いがありますように……祈るばかりです。

(島本禎子)

知りたい！ 聴きたい！ こんなとりくみ

第64回

あなたの「価値」を
見つけて伝えよう
「ほめちぎる就労支援」®

株式会社ユニーク（大阪府高槻市）
就労継続支援A型事業所ユニーク
管理責任者 上田萌乃さん、同利用者 Eさん
就労継続支援A型事業所ユニークコパン
管理責任者 高畑朋美さん、同利用者 Mさん
就労継続支援B型事業所ユニークアーチ
管理責任者 上原真里さん

働く幸せとやりがいを
提供したい

高槻市は大阪府の北東部に位置し、大阪や京都の中心地へのアクセスにも恵まれた、にぎわいと活気あふれるまちです。今回は、この地で「ほめちぎる就労支援」®にとりくむ株式会社ユニークさんにお話を伺いました。

高畑 親会社であるビルメンテナンスを行っている株式会社高畑の代表が、清掃作業を担当する高齢の従業員さんたちの「仕事をすると元気になる」「孫に



ユニークの皆さん

本ほめる達人協会」はタカジョウグループで先にとりくんでいました。スタッフが「これはすごい」と感じ、ユニークには2024年に導入しました。導入前には約1年半をかけて事業所に講師を招いて、スタッフ全員で「ほめちぎる研修」を受講しました。

スタッフは全員が「ほめ達」検定3級以上を取得し、認定講師を取ったスタッフもいます。「ほめる」とは、単に相手を気分よくさせたり、おだてたりすることではありません。相手を認め、

現在では、「ほめること」を利用者さんとの大切な約束事としてとりくんでいます。

「ほめちぎる就労支援」®の実践

高畑 「ほめちぎる就労支援」®

プレゼントを買ってあげられる」といった声を聞き、障害のある方たちにも働く幸せややりがいを提供したいという思いから、ユニークを立ち上げました。現在、利用者の7～8割が精神障害のある方で、昨年度の就労実績は全体で9名です。就労継続支援A型事業所2か所のほか、2025年からは就労定着支援事業、2026年には就労継続支援B型事業所も開始しました。

「ほめちぎる就労支援」®を
活動の柱に

高畑 「ほめちぎる就労支援」®のベースとなっている「ほめ達」®（ほめる達人…一般社団法人日

では、毎朝30秒ずつペアになってほめあう「朝ほめ」、日報で自分自身をほめる「自己ほめ」、スタッフとの面談「ほめん談」、仲間へすごいと思うことや感謝を伝える「ほめっせい」など、さまざまな機会やツールを活用して「ほめる」を実践しています。

印象に残っている利用者さんのエピソードがあります。その方は生産性を重視するあまり口調が厳しく、他の人と協力することが苦手で、周囲との関係がぎくしゃくしていました。しかし、ユニークでは毎日「ほめっせい」を送り合う取り組みをしています。最初は「嫌だ、やりたくない」「いいところなんてない」と言っていました。が、続ける

大会プログラム

第18回 全国精神保健福祉家族大会みんなねっとin長崎

『共に生きる社会の力』

～支え合い、学び合い、次世代へつなぐ平和な未来～

DAY1 11.20 金 12:00 受付

- 12:30 オープニング
- 13:00 開会式 開会のことば・主催者挨拶
来賓祝辞・紹介
- 13:45 行政説明 厚生労働省
- 14:15 活動報告 みんなねっと
- 14:30 基調講演 (60分)
テーマ「家族会のこれまで、今、そして、これから」
長崎県病院企業団 長崎県精神医療センター
院長 大塚 俊弘 氏
- 15:45 記念講演 (60分)
テーマ「誰もが幸せに生きていける社会とは
～出会いこそ、生きる力～」
サヘル・ローズ 氏
- 17:30 沖縄・九州ブロック代表者会議
- 18:00 情報交換会 サンプリエール長崎

DAY2 11.21 土 9:00 受付

- 9:30 分科会
- ◆第1分科会
家族会の課題と未来について
テーマ
「家族会の未来をひらく、多様な家族の声と新しいつながり」
- ◆第2分科会
地域社会との関係性
テーマ
「ともに生きるための支援ネットワークの未来」
- ◆第3分科会
歴史・社会的視点から偏見を考える
テーマ
「偏見を乗り越えるための学び～記憶を未来の力に～」
- 11:20 閉会式 大会宣言・次期開催県連挨拶
閉会の言葉

参加申込方法

申込期間 2026年 8月1日(土)～9月30日(水)

参加区分	参加費
会場参加 (ベネックス長崎ブリックホール)	家族・一般 3,000円
オンラインのみ (ライブ配信1日目のみ&アーカイブ配信)	当事者・学生 1,000円
情報交換会 (サンプリエール長崎)	9,000円

申込方法および支払方法

大会参加・情報交換会・ご宿泊は申込フォームQR
または以下のサイトからお申込みください。
<http://www.mwt-mice.com/events/18minnaneet>

【お支払い】 銀行振込み



●会場・オンライン・情報交換会の参加は事前申込が必要です。

●会場参加の方は追加費用なしでアーカイブ配信(記念講演を除く)の視聴ができます。



お
問
合
せ

長崎県精神障害者家族連合会 長崎市茂里町3番24号長崎県総合福祉センター県棟4階
TEL 095-842-5350 FAX 095-842-5351
E-mail info@c-seifukukyo.jp



記念講演師

サヘル・ローズ氏 (俳優・タレント)

イラン出身。孤児院で育ち8歳で来日。
俳優・映画監督として活躍し、主演映画
『冷たい床』は国際映画祭で受賞。
監督作『花束』公開。著書『生きることか
ら、すべては始まる』刊行。
国内外で支援活動も続け、人権活動家
賞受賞。

※記念講演は、会場およびライブ配信でのみ視聴いただけます。アーカイブ配信ではご視聴いただけません。

2026
日時 **11.20** 金 12:30-17:00 (受付 12:00～)
▶11.21 土 9:30-11:30 (受付 9:00～)

会場 ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場
長崎市茂里町2-38 TEL:095-842-2002

開催形式 ハイブリッド開催 会場定員 **540名** ※要申込

参加費 家族・一般 3,000円 / 当事者・学生 1,000円

主催 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)・長崎県精神障害者家族連合会

後援 内閣府・厚生労働省・長崎県・長崎市・長崎県精神科病院協会 他(予定含む)